

振り返り資料（基本方針）

本資料は、これまで検討委員会で行われた議論の中から、基本理念の考え方に繋がっている事項で、基本方針の方向性を示すと考えられる事項をまとめたものです。

方向性 1：

【繁閑差の是正について】

- ・観光業はオンオフの繁閑差が激しい。オンオフがなくなり稼働率が安定すると、事業者の経営も安定する。
- ・安定的な経営を行うには、オフシーズンの入込を増やすことが必要。インバウンドの誘客を含めて検討する。
- ・上期の観光客を増やすのは難しいが、下期の受け入れにはまだ余裕がある。
- ・A Tは、地域の歴史や文化をつなげてストーリーを作る。函館は素材の宝庫であり、うまくつなげることで、点から面になりコンテンツになる。オフシーズンでも魅力的な商品になる。

方向性 2：

【質の向上】

- ・5年後に向けて函館観光の質を向上させていく。観光客の人数よりも、採算性や生産性を高める。エビデンスに基づくマーケティングと戦略立案が必要と考える。

【観光消費額について】

- ・観光業の収益は、取引のある様々な産業の収益にもつながっている。そうした事実をわかりやすく説明し、各産業に知れ渡るようになると良い。
- ・観光消費の状況を分析することで、他産業への波及や、泊数が増えることで消費金額がどのように変わるのか議論できる。数字と紐づけて泊数を増やす議論ができると、わかりやすくなる。